

初期投資ゼロ 自家消費型

若手が立ち上げ

発電設備を初期投資ゼロで取り付け、電力を供給するサービスだ。Daigas エナジー（大阪市中央区、井上し、2025年度まで）の受注を合計500件（05・4641）は、法人向け自家消費型太陽光発電サービスを6月に始めた。顧客が持つ建物の屋根に太陽光

新サービスで 勝つ

新サービスの名称は「Dissolar（Dソーラー）」。Daigas エナジーで新事業を検討するビジネス開発部ビジネス企画チームの若手社員が立ち上げた。顧客の工場や店舗、物流施設の屋根を借り無償で太陽光パネルを設置し、発電された電力を売り自家消費に充ててもらおう。契約期間は15年。自家消費分と、大ガスが関与する新電力の契約など

Daigas エナジー



を組み合わせ、電気料金の削減も提案する。（9月末までに引き合いは88件あった。うち75件は工場関連）「ビジネス企画チームの新甲本と日本ピュアフード（東京都品川区）の3社。六甲バターは神戸市西区の神戸工場に太陽光パネル（出力984キロワット）を設置し、11月に発電を開始する予定。他の2社は8月に発電を始めた。

太陽光発電 工場・店舗に提案

受注した企業は磨き棒鋼などを生産する協同シャフト（大阪市淀川区）、食品会社の六甲本と日本ピュアフード（東京都品川区）の3社。六甲バターは神戸市西区の神戸工場に太陽光パネル（出力984キロワット）を設置し、11月に発電を開始する予定。他の2社は8月に発電を始めた。日本ピュアフードでは食品加工の主幹工場である西宮プラント（兵庫県西宮市）の屋上に860枚の太陽光パネルを無償で設置。発電した電力を供給する



日々の太陽光発電量が大型モニターで分かる（日本ピュアフード西宮プラント）

資なしで電気代を削減できるのは大きい。訪問客などに環境の取り組みもPRできている」と強調する。

全国展開に弾み

大ガスが太陽光発電事業者のウエストホールディングスと3月に提携したことも、Dソーラーの全国展開に弾みがつく。Daigas エナジービジネス企画チームの高木雄一氏は「中堅・中小企業にも今回のサービスを広く提案していく。関西でナンバーワンの自家消費ビジネスにした」と意気込む。

太陽光発電は電力の固定価格買い取り制度（FIT）の単価下落で、売電から自家消費の事業モデルが注視される。同社は太陽光に加え、蓄電池や水処理施設など環境関連商材のセット提案も目指す。顧客に新しい価値を届ける挑戦は続く。（大阪編集委員・広瀬友彦）